

2025年 年頭所感

公益社団法人
日本建築士会連合会 会長

古谷誠章



新年明けましておめでとうございます。

昨年は元日早々に令和6年能登半島地震が発生し、波乱の年明けとなってしまいました。さらにその後の9月に能登地方で発生した豪雨災害が重なり、被災地域の方々、並びに復興に尽力されている皆さまには今でも大変なご苦労が続いていることに、本当に心が痛みます。改めまして被災されたすべての方々には心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

昨年6月に日本建築士会連合会の会長を拝命し、約半年が経ちました。その間、まずは各ブロックの会長会議や協議会、北海道建築士会の全道大会などに参加して、各地域の直面する課題や取り組みなどを拝聴しました。さまざまに工夫された日頃の活動に敬意の念を抱くと同時に、会員の増強や会盛の拡大、財政の健全化が、いずこにも共通する喫緊の課題であることをひしひしと感じました。まだ日が浅いのですが、各道府県の会長をはじめとする各建築士会の皆さんの熱心な活動の一端に触れて、大変な情熱を感じるとともに、地道なご努力に頭が下がりました。心から感謝をいたします。

おかげさまで10月には無事に第66回建築士会全国大会「鹿児島大会」を開催することができ、3,000名以上の多くの会員にお集まりいただきましたこと、大変うれしく思い、また全国の建築士会員の皆さんが一堂に会する大きな意義と楽しさを感じさせていただきました。改めまして開催にご尽力いただいた西園会長をはじめとする鹿児島県建築士会のメンバーの皆さん、さらに地元行政の皆様のご支援に心より感謝

申し上げます。委員会や部会のセッションが充実しすぎていて、とてもすべてを見て回ることができなかつたのは、いささか心残りでしたが、私自身にとりましても会長としての初めての大会となり、おかげさまで何とか役目を果たすことができホッとしました。あわせて、会場に設置した能登半島地震に対する義援金募金箱につきましても、多くの方のご芳志を賜り、重ねて御礼を申し上げます。大会の運営につきましても、今後工夫し改善して行きたいと思うところもありましたので、引き続き皆様のご意見やアドバイスもお伺いしたいと思います。

さて、大会も滞りなく済んで、正副会長並びに全国の建築士会長ほかの皆さんと共に、いよいよ本格的に山積する課題に取り組み始めているところです。まずは先にも触れました建築士会の財政や会員増強の問題について、早速、財政健全化タスクフォースを立ち上げて、本腰を入れてこの喫緊の課題に取り組んでいきたいと思います。いかに財政が逼迫しているからといって、あれも切るこれも切るの縮減一辺倒の施策では、会勢の維持や増強を図ることができません。まずは、さまざまな工夫とアイデアによって財政改善に成果をあげている単位士会の取り組みに学んで、積極的に打開策を打ち出していくための知恵の共有を図りたいと思います。

次に、長年の懸案であるCPD・専攻建築士の問題については、CPD受講実績の積極活用を各公共団体に働きかけるほか、CPD制度間の流動性を高め、資質の向上に有効なCPDメニューを相互に取り入れるなど、CPD制度の実効性、

有用性を高める努力をして行きたいと考えています。並行して監理技術者講習や既存住宅状況調査講習など、必ずしも順調に受講の進んでいない講習についても、その受講のベネフィットを生み出すことのできるよう、その対象や目的の拡大を図りたいと思います。

また、専攻建築士制度につきましても、その取得のメリットの拡充、特に統括設計専攻建築士については、UIA（国際建築家連合）の求める国際的な同等性につながるような、内容を上積みしていくか、もしくは日本建築家協会（JIA）の模索する登録建築家制度の改善とも、可能な部分で連携を図り、相互に発展させる道も探って行きたいと考え、両団体間、あるいは建築士事務所協会、建築学会、日建連を含む建築五会などの場も通じて、協議を始めているところです。

教育・事業本委員会関係では、各種表彰制度の若干の模様替えを通じて、より良い表彰制度を構築できるよう働きかけて行きたいと考えています。連合会建築賞につきましてはすでに来年度から、新たな審査委員長を迎え、また審査員構成に関しても審査員の属性によるメンバー構成の枠組みを整えました。また木の建築フォーラムとの共催である木の建築賞につきましても、現在の7ブロックの巡回性や、全国大会開催県との関係などに見直しをかけ、応募者や運営上のストレスを減ずるような制度の改善を模索し、木の建築フォーラム側とも協議して行きたいと考えています。

まちづくり委員会関係では、各部会の活動と大会セッションのプログラム、さらに防災まちづくり部会と災害対策委員会の役割分担などに、よりふさわしい形を模索したいと思っています。

さらに災害対策に関しては、これまでも各ブロックの協議会でもお願いしてきました、各ブロック内での各県建築士会の支援関係の整理、さらにブロック間の災害時の支援関係の構築を進めて、万一の際に備える相互支援ネットワークを早急に確立したいと考えています。

近角前会長の肝煎りで立ち上げられた、建築五会の脱炭素建築モデルづくりのタスクフォースでは、すでに何回かのタスクフォースミーティングを開催し、まずは寒冷地における共住系施設モデル、亜熱帯地における複合公共施設（小中学校+公民館）モデルについて、先行して課題整理を行い、プロトタイプ化を図りつつあるところです。これにつきましてもぜひ会員の皆さんのアドバイスやご協力を賜りたいと考えています。

年頭にあたりまして、連合会の活動の一端をご紹介しますとともに、会員の皆さん、ご関係の皆様の本年ますますのご活躍を祈念して、結びとしたいと思います。ありがとうございました。

2025年
日本建築士会連合会の
主な行事予定と
会誌『建築士』の掲載予定

[開催中]

監理技術者講習

場所…連合会、都道府県建築士会

既存住宅状況調査技術者講習

場所…連合会、都道府県建築士会、
オンライン講習

建築士定期講習

場所…都道府県建築士会

一級建築士免許登録、携帯型免許 証明書への切換えおよび各種申請

申請窓口（通年）…都道府県建築士会

1月

「脱炭素社会推進協議会」2024年度シンポジウム

開催…2025年1月29日（水）
場所…建築会館ホール

1月～2月

令和6年度 全国まちづくり委員長会議

第33回 まちづくり会議

開催…2025年1月31日（金）・2月1日（土）
場所…鳥根県松江市

会誌『建築士』2025年7月号（報告掲載予定）

建築等を通じた良好な環境・まちづくり・シンポジウム

開催…2025年2月14日（金）14:30-17:00

場所…建築会館ホール

基調講演…古谷誠章（日本建築士会連合会会長）

3月

全国青年委員長会議

開催…2025年3月8日（土）・9日（日）

場所…東京都

6月

令和7年度 通常総会

開催…2025年6月17日（火）13:30

場所…建築会館1階ホール（東京）

7月

令和7年度 第34回 全国女性建築士連絡協議会

開催…2025年7月19日（土）・20日（日）
場所…山形県

9月

第67回 建築士会全国大会 おおさか大会

開催…2025年9月19日（金）

場所…大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

概要発表…会誌『建築士』2025年4月号掲載（予定）

第5回 建築作品賞 入賞作品紹介

応募締切…2025年2月28日（金）

会誌『建築士』2025年9月号掲載（予定）

10月

第16回 高校生の「建築甲子園」

応募締切…2025年10月末（予定）

会誌『建築士』2026年3月号入賞作品掲載（予定）

第25回 日・韓・中建築士協議会

開催…2025年10月～11月頃

場所…蘇州市（中国）

※開催の有無および日程は、変更等が生じる場合があります。